



## 対人援助学マガジン読書会報告

### 対人援助学マガジン読書会（第5回）実施報告

2022年5月20日に第5回目の「対人援助学マガジン読書会」をオンライン（Zoomミーティング）で開催しました。

第5回の指定図書は、西川友理さんの「福祉系対人援助職養成の現場から」でした。西川さんの連載はマガジン創刊とともにスタートしており、これまで一度の休載やタイトル変更もなく連載を継続されています。

そんな「福祉系対人援助職養成の現場から」の連載のきっかけや、継続連載の秘訣をお聞きする機会となりました。また、西川さんと同じく専門教育機関で援助職養成に関わっている人や、現場で実習を引き受ける施設側から参加して下さった方もおられ、援助職養成の現場の今について、多面的かつ活発に話し合われる場となりました。

### 第5回読書会指定図書執筆者：西川友理さん

白鳳短期大学ほか複数の専門教育機関で保育士・社会福祉士等の対人援助職の養成に携わるとともに、現任者向けの福祉従事者研修の講師も務め、広く援助職の養成・教育に関わっている。マガジン創刊以来の連載である「福祉系対人援助職養成の現場から」では、学校での教育から実習にまつわる事柄など、具体的なエピソードとともに援助職養成の現場の悲喜こもごもを伝えている。

（編集部）

## ◆第4回執筆者トークライブのご案内◆

対人援助学マガジン執筆者トークライブ(オンライン)を下記の要領にて開催いたします。

執筆者トークライブは、執筆者と読者が顔を合わせる機会を作るとともに、執筆者の連載テーマについて書ききれない思いや余白について思い切りお話頂く機会を作れたらとの思いで企画しました。フロアとの意見交換も行いながら、“ライブ”での展開と交流を楽しみ、互いに学びを深める機会になればと思っております。

第4回執筆者トークライブの話者は水野スウさんです。水野さんは「きもちは、言葉を探している 紅茶の時間とその周辺」と題して、マガジン第2号から連載を開始し、週に一度誰でも無料で参加できるオープンハウス「紅茶の時間」やその周辺にあるさまざまな活動に関して連載を続けておられます。その活動の原点である「紅茶の時間」は30年を優に超えて継続しています。

対話(平話)を通した平和の実現に向け、各地での出前講話や「わたしとあなたのけんぼう Book」、「たいわけんぼう Book+」の執筆など、幅広く活動をしておられ、2018年には第24回「平和・協同ジャーナリスト基金賞 荒井なみ子賞」を受賞されました。

ロシアによるウクライナ侵攻や、その影響を受けた各国の反応から、人々の日常が脅かされ、平和のあり方が改めて問われています。対話を通して平和を作るといふ、小さな取り組みを長年続けてこられた水野さんのお話をお聞きし、また参加者の皆さんと対話することを通して、時代の揺れの中にあっても平和を希求する道を探っていきたいと思っております。

皆様のご参加をお待ちしております。

期日：2022年8月19日(金) 21時から23時

場所：オンライン(参加申し込みをされた方にZoomの情報をお送りします)

定員：50名程度(先着順)

話者：水野スウ氏 連載「きもちはことばを探している」

申込方法：

お申込みはこちらの[リンク](#)から参加申込フォームに必要事項を記入して送信してください。開催期日が近づきましたら、Zoomミーティングに参加するために必要な情報をお知らせ致します。

編集部：大谷多加志